

課題名 (タイトル) :

RIBF ビーム実験生データのバックアップ/研究記録管理

利用者氏名 :

○市原 卓\*

馬場 秀忠\*

所属 :

\*仁科加速器研究センター 情報処理技術チーム

- 
1. 本課題の研究の背景、目的、関係するプロジェクトとの関係  
仁科加速器研究センターでは RIBF でビーム照射実験を行っており、実験ごとに生データが発生する。生データは RIBF 棟 1 F 104 サーバ室の RAID に保管されているが、浸水、被水、火災、地震などの災害が発生したときにデータの保全生を保つために、物理的に RIBF 棟 1 F104 サーバ室とは離れている情報棟の Hokusai HSM を用いて生データのバックアップ管理を行うことにより、貴重な RIBF 実験生データの保全性を図ることが本研究の目的である。
  2. 具体的な利用内容、計算方法  
RIBF 棟で取得された実験データを Hokusai HSM へネットワークを通じてコピーする。
  3. 結果  
2017 年 2 月 7 日の時点でディスク領域に 14TB、テープ領域に 272TB の生データを保管している。
  4. まとめ  
2016 年 7 月から生データの保管を開始したが、順調に利用出来ている。
  5. 今後の計画・展望  
現在与えられたクォータのうち、ディスク領域 71%、テープ領域が 90%の使用率である。2018～2019 年初めまでは大容量のデータを取得する実験が予定されていないため、現状の割り当てで継続して利用していく。